



TITLE:

平成7年度センター業績 (1995年4月1日 - 1996年3月31日)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

平成7年度センター業績 (1995年4月1日 - 1996年3月31日). 京都大学高等教育研究 1996, 2: 201-203

ISSUE DATE:

1996-06-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/53499>

RIGHT:

## 平成7年度センター業績

(1995年4月1日～1996年3月31日)

### 梶 田 勲 一 (教授)

#### 【著作】

- ・梶田勲一編著『教育心理学への招待』ミネルヴァ書房(1995年5月)
- ・梶田勲一責任編集『基礎・基本を育てる／教育フォーラム16』金子書房(1995年6月)
- ・梶田勲一責任編集『学びと育ちの支援・援助／教育フォーラム17』金子書房(1995年12月)

#### 【学会報告等】

- ・研究交流部会Ⅱ「FD活動の要件と大学教授法センター」提案者(一般教育学会第17回大会、桜美林大学)(1995年6月)
- ・公開シンポジウム「個性をどうとらえどう育てるか」話題提供者(第3回日本性格心理学会、日本大学文理学部)(1995年11月)

#### 【社会的活動等】

- ・厚生省健康政策局／看護職員の養成に関するカリキュラム等改善検討会委員(1995年6月～1996年3月)
- ・文部省高等教育局／マルチメディアを活用した21世紀の高等教育のあり方に関する懇談会メンバー(1995年12月～1996年6月)
- ・最高裁判所／家庭裁判所調査官試験委員会臨時委員
- ・兵庫県教育委員会／子どもたちに生きる力を育む教育懇話会委員(1996年3月～)
- ・大阪市教育センター／研究顧問
- ・大阪府箕面市／教育委員(委員長職務代理)
- ・兵庫県教育大学参与(1995年6月～)
- ・放送大学客員教授
- ・帝塚山学院大学国際理解研究所客員教授
- ・ノートルダム清心女子大学大学院非常勤講師

#### 【主要な講演・講義等】

- ・ノートルダム清心女子大学「キャップ&ガウン授与式」講話(学生対象、学長・学部長・全教員聴講)(1995年5月)
- ・信濃毎日新聞社主催シンポジウム「長野県の教育の今日と明日を語ろう」コーディネーター(1995年5月)
- ・中村学園大学児童学科特別講演会(学生対象、学長・学部長・関係教員聴講)(1996年2月)
- ・滋賀大学「大学教育改革」講演会(学長・学部長・有志教官対象)(1996年2月)
- ・高知大学「大学教育改革」講演会(学長・学部長・有志教官対象)(1996年3月)
- ・福井大学「大学教育改革」講演会(学長・学部長・有志教官対象)(1996年3月)

### 田 中 毎 実 (教授)

#### 【著作】

- ・讃岐幸治・田中毎実共編『ライフサイクルと共生』青葉図書(1995年9月)
- ・田中毎実「なぜ今、生きがいなのか」(井原栄二他編『看護する者・される者とコミュニケーション』明治図書)(1996年2月)
- ・岡田渥美・田中毎実「人間形成の＜全一的＞再規定に向けて」(岡田渥美編『人間形成論～教育学の再構築のために』玉川大学出版部)(1996年3月)
- ・田中毎実「人間形成論の内容的展開の試み～ライフサイクルと相互形成」(岡田渥美編『人間形成論～教育学の

再構築のために』玉川大学出版部) (1996年3月)

【論文等】

- ・田中每実「人間のテクノロジーの場所～医療と教育における対人関係様式について」(愛媛大学教育学部・教育学研究室編『教育学論集』第14号) (1996年2月)
- ・岡田渥美・田中每実「教育責任の人間形成論のために」(文部省科学研究費補助金平成5・6・7年度総合研究A研究成果報告書『教育責任に関する人間形成論的総合研究』) (1996年3月)
- ・田中每実「学部科目『教育哲学／人間形成論』の実践」(日本教育学会第54回大会課題研究「教育学教育の課題：私の教育学教育」報告) (日本教育学会『教育学研究』第63号第1巻) (1996年3月)

【学会報告等】

- ・田中每実「学部科目『教育哲学／人間形成論』の実践」(大会課題研究「教育学教育の課題：私の教育学教育」報告) (日本教育学会第54回、東京学芸大学) (1995年8月)
- ・Tsunemi Tanaka "Floating Around" and "Self-Confinement" as the Result of Over-Adaptation of Young People in Japan today: Towards the Reconstruction of Pedagogy through the Examinations on the Relevant Data and Several Case-Studies; in Symposium IV: Von Japan lernen? - Staatliche und private Bildung in der Geschichte und Gegenwart Japans. (15. Kongreß der Deutschen Gesellschaft Für Erziehungswissenschaft: 12. März 1996 in Halle an der Saale BRD)

石 村 雅 雄 (助教授)

【著作】

- ・石村雅雄「一元化をめぐる議論と政策提言」及び「首都圏(東京、神奈川)における連携の実情」(研究代表者上田学『地方における公立学校行政と私立学校行政の連携に関する調査研究』京都女子大学) (1995年4月)
- ・石村雅雄「フランスにおける教育行政」(吉岡剛『教育行政学』佛教大学通信教育部) (1995年4月)
- ・石村雅雄「国家と教育の新たな関係に向けて」(TEES (Teacher Education & Educational Science) 研究会『教育学教育試論』学術図書出版社) (1996年1月)

【論文等】

- ・石村雅雄「フランス全国大学評価委員会活動下の大学教育改革」(『京都大学高等教育研究』創刊号) (1995年6月)
- ・石村雅雄「書評:P.G.アルトバック(馬越徹監訳)『比較高等教育論』」(『大学論集』第24集 広島大学大学教育研究センター) (1995年4月)

【学会報告等】

- ・上田学、雲尾周、南部初世、石村雅雄「地方における公立学校行政と私立学校行政の連携に関する研究」(日本教育経営学会第35回大会、京都教育大学) (1995年5月)
- ・石村雅雄「フランスにおける大学評価」(大会課題研究「大学評価の課題と方法」報告) (日本比較教育学会第31回大会、広島大学) (1995年7月)
- ・木岡一明、岩田康之、尾上雅信、大谷奨、金子勉、北神正行、雲尾周、榊原禎宏、竺沙知章、西山薫、濱田博文、船寄俊雄、山田朋子、石村雅雄「戦後『教育学部』史研究(1)」(日本教育学会第54回大会、都立大学) (1995年8月)

【社会的活動等】

- ・広島大学大学教育研究センター客員研究員
- ・同志社大学嘱託講師
- ・光華女子大学非常勤講師

杉 本 均（助手）

【著作】

- ・杉本均「中等教育の多様化と文化接触」（研究代表者江原武一『現代アメリカ中等教育改革の批判的検討～中等教育システムの構造変容を中心に』京都大学教育学部）（1995年4月）
- ・杉本均「マイノリティの教育と進学動向」（米川英樹・江原武一編『自己意識とキャリア形成～ハイスクール卒業生のライフコース』学文社）（1996年3月）

【論文等】

- ・杉本均「マレーシアにおける中等理科カリキュラムの開発と「移植」～国際教育関係の観点より」（『京都大学教育学部紀要』第41号）（1995年4月）
- ・杉本均「高等教育における科学と哲学～アジアイスラム社会の視点－その1－」（『京都大学高等教育研究』創刊号）（1995年6月）

【学会報告等】

- ・杉本均「マレーシアにおける中等カリキュラムと価値の『吸収』」（第5回重点領域研究研究会、京都大学東南アジア研究センター）（1995年）
- ・杉本均「科学と文化・宗教～マレーシア中等理科カリキュラムにみる葛藤」（第4回マレーシア研究会JAMS総会、富山厚生年金休暇センター）（1995年5月）
- ・杉本均「マレーシアの中等教育にみる価値教育と科学教育の動向（ラウンドテーブル：教育の危機と教育改革～海外の中等教育の動向）」（第47回日本教育社会学会、立教大学）（1995年9月）